

第8回東久留米市長期総合計画基本構想審議会会議録

1. 開催日時・場所

日時：令和元年10月10日（木）18時30分～20時40分

場所：東久留米市役所 庁議室

2. 出席者

委員：有賀委員、遠藤委員、奥委員、渋井委員、杉原委員、中路委員、三浦委員、
水戸部委員、矢部委員、若林委員

欠席：梅本委員、大山委員、岸委員、斎藤委員、松本委員

事務局：企画経営室長、企画調整課長、企画調整課主査、企画調整課主任2名、
企画調整課主事
株式会社富士通総研3名

3. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 会議録の確認について
- (3) 第5次長期総合計画基本構想中間答申(案)について
- (4) その他

4. 配付資料

- (1) 第8回東久留米市長期総合計画基本構想審議会 次第
- (2) 第7回東久留米市長期総合計画基本構想審議会会議録(案)
- (3) 資料1：第5次長期総合計画基本構想中間答申(案)について
- (4) 資料2：中間答申後のスケジュール
- (5) 委員提供資料1：水と緑と土が出てくる総合計画（浜松市，1992）
- (6) 委員提供資料2：東久留米市環境基本計画(第2次)と基本構想の環境の箇所

5. 発言の内容

(1) 開会

【会長】

皆さんおそろいのようなのでこれより第8回東久留米市長期総合計画基本構想審議会を開催いたします。本日はお忙しいところ御出席賜りまして誠にありがとうございます。本日の委員の出欠について事務局から御報告をお願いいたします。

【事務局】

本日は、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員から御欠席との御連絡を頂戴しております。委員の過半数は出席されておりますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。

【会長】

本日の審議会につきましてはおおむね 20 時 30 分までを予定しております。御協力のほどよろしくお願いいたします。

次に傍聴者の確認をいたします。本日、傍聴者はいらっしゃいますか。

【事務局】

傍聴者はありません。

【会長】

本日の傍聴者はいらっしゃらないということですね。まだ傍聴人の方はお見えになっていないようですが、もし今後いらした場合には入室していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、お見えになったときにはお入りいただくということにさせていただきます。次に、事務局より資料の確認をお願いいたします。

【事務局】

本日机の上に御用意しております配付資料一覧に沿って御確認いただきたいと思います。まず机に置いたものとして次第、前回第 7 回の会議録案、また委員提供資料 2 として〇〇委員より頂戴しました東久留米市環境基本計画（第 2 次）と基本構想の環境の箇所をお配りしております。また、麦の収穫祭のカラー刷りのチラシも頂戴しております。ここまでで不足等はありませんでしょうか。

続いて、事前に郵送させていただいた資料の確認をさせていただきますと思います。はじめに資料 1、資料 2、それから委員提供資料 1 として、こちら〇〇委員から頂戴しました「水と緑と土が出てくる総合計画」。これは浜松市 1992 年というものでございますが、こちらをお送りしております。事前送付資料につきまして不足等がございましたらお申し付けいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

では、〇〇委員から何点か資料を頂いております。ものによっては議題に関して必要なところで御説明いただいたほうがいいものもあるようにお見受けしておりますが、それ以外のものについてここで御説明いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【〇〇委員】

最初に麦の収穫祭のお話をします。これは 10 月 6 日に行われたものですが、麦を中心としたテーマで 2014 年から市民グループが始め、私の所属する自由学園も携わりながらだんだん大きくなり、今年は 85 グループが参加して、小雨が降る中 2,500 名が参加しました。去年の参加者は 2,000 名でした。1 つのテーマで 2,500 人が集まります。麦の収穫祭は私がこの間からお話しているように柳久保小麦という特産品をいろいろな形で、自由学園であれば避難所でも作れるクッキーを作りましたし、パンや菓子、ヒンメリというフィンランドで行われている莖を使った細工、いろいろなもので麦をテーマに老若男女が取り組んでいます。この中には 400 年くらい続く農家の方も入っていて、御一家は農業のほかに書店などもされており、コミュニティ誌を出すなど 6 次産業にも取り組まれています。そこに自由学園のような教育が入ることで 10 次産業のような場になるのではないかと思います。

す。実際に10次産業というものがコンセプトだけでなく小さなステップですが動いている例として紹介させていただきました。

残りの水と緑と土の総合計画や環境の配付物は、後ほど環境のところで説明させていただければと思います。

(2) 会議録の確認について

【会長】

ありがとうございました。続いて会議録の確認について事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】

お手元の第7回の会議録案を御覧いただきたいと思います。本件につきましては9月20日に開催いたしました第7回審議会の会議録案でございます。委員の皆様には事前にお送りして御確認いただいているところでございます。委員の皆様からの御指摘箇所については事務局で対応させていただいているものと思っておりますが、〇〇委員の御発言部分に対応できていない部分がありました。申し訳ありませんでした。今ほど追加で資料をお配りさせていただいております。これも含めて、よろしければ「案」を取り正式な会議録とさせていただきますと考えております。

【会長】

会議録案についてさらに修正を要する箇所はございますでしょうか。29ページ、30ページは差し替えということですが、よろしいでしょうか。よろしければ、こちらで第7回東久留米市長期総合計画基本構想審議会の会議録案について「案」を取って正式な会議録とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、こちらの案を取らせていただいて正式な会議録とさせていただきます。ありがとうございました。

(3) 第5次長期総合計画基本構想中間答申(案)について

【会長】

事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

資料1を御覧いただきたいと思います。この資料は前回の会議で皆様から頂いた御意見をベースに見直しをした中間答申の案となっております。本日は、この中間答申の案について御議論いただき、本日頂いた御意見の反映をもって中間答申とさせていただく予定でございます。内容につきまして、前回の会議から大きく変更した点を簡潔に説明させていただければと思います。

資料1の「まちの将来像」について、前回は全体を空欄でお示ししておりましたが、いろいろキーワードの御議論もしていただく中で、「湧水のまち東久留米」という言葉は委員の皆様が合意をされたというふうに事務局では思っております。

その前の部分にどのような言葉を持ってくるかということで、ある程度期限を設けさせていただき、会長をはじめ何人かの委員の方から御意見を頂戴しました。頂戴した御意見

や前回の御議論も踏まえ、今回、「いきいきと活力ある湧水のまち東久留米」とお示しております。改めてお示した「まちの将来像」について御意見を頂戴し、見直しを図っていききたいと思います。

また、「まちの将来像」の下に、「まちの将来像」を説明する文章がございます。読み上げます。

「東京都で唯一、「平成の名水百選」に選ばれた落合川と南沢湧水群をはじめとする湧水や清流に象徴される水や緑が織りなす風景は、東久留米市の誇りです。わたくしたちは、未来に希望をもって一人ひとりがいきいきと暮らし人々が行き交い、まちが潤い、魅力あふれるまちをめざし本基本構想におけるまちの将来像を「いきいきと活力ある 湧水のまち 東久留米」として掲げます」としております。

この7行についてですが、審議会の皆様には御議論いただいている一方で庁内でもこの書きぶりについて意見交換をしてみました。「湧水のまち東久留米」というところは審議会でも一定、皆さんが共感された部分であるという前提の下に、その前に来る言葉としては経済の循環や地域経済の活性化といった意味合いのキーワードが欲しいといった意見がございました。将来像の中に「経済」という言葉はなじまないかなということもあり、湧水のことを前段で語り、また、一人ひとりがいきいきと暮らすということも中段でうたい、人々が行き交って、市内の人、外から来る人もイメージする中でまちが潤う。潤いという言葉はいろいろな意味で使われるかと思いますが、経済という観点も意識しながら、最終的には魅力あふれるまちを目指すということで文章を整えた次第でございます。「まちの将来像」については以上です。

2の「まちづくりの基本理念」ですが、前回イメージとしてお見せしたときにはあくまでイメージのお示しでしたが、いわゆる平和、人権、障害の有無とか男女共同参画といったことが書かれていました。基本理念には違いない話ではありますが、前回の会議の中では何人かの委員から「みんなが主役」という第4次基本構想の中のまちづくりの基本理念の言葉についての発言がございました。

また、資料1の9ページを御覧いただきたいのですが、基本目標の体系をお示ししています。ここで「基本構想実現のために」という項目が9ページの下部にございまして、これが上にある5本の基本目標を実現していくに当たって共通して取り組むべきテーマということでこのような括りになってございます。

ここに3つの施策がぶら下がっておりまして、「協働によるまちづくり」「互いに尊重しあえる意識の醸成」。ここに先ほど申し上げた人権、平和、障害の有無、男女の関係、多文化共生といったものが入ってきます。最後に「持続可能な行財政運営」ということで、これは行財政改革といったものが中身になってまいります。これも現行の計画の体系に合っているわけですが、こういった形で改めて案の段階では整理させていただいたと御理解いただければと思います。

資料1の3ページ以降は議論を区切ってしてまいりたいと思いますので、まずは2ページについて御意見を頂戴できればと思います。

【会長】

では御説明のあった「まちの将来像」と「まちづくりの基本理念」の部分について御意見を頂戴したいと思います。まず将来像のところですが、皆さんから頂いたアイデア、御提案を事務局のほうでまとめて、こんな感じでどうかというキャッチフレーズが挙げられていますが、いかがでしょうか。「湧水のまち東久留米」はこれでいこうということで前回決まりましたので、その前段の部分ですね。

「いきいきと活力ある」ということですが、これも前回出た御提案だったかと思いますが

が、活力自体はいきいきという意味も含むので重なってしまうのでどうかということが前回出たのですね。私もそういう意味では日本語としてどうかなというのが気になるところではあります。ただ、まちの将来像を説明する文章をうまく表現できるような言葉をもう少し工夫できないかと思いますがいかがでしょうか。

【副会長】

第5回審議会から皆さん一人ひとりから御意見を頂いて、その段階でA案・B案・C案という形が出てきて、第7回でさらに検討を加えました。その後に御意見のある方はさらに申し出て下さいという形で申し出が行われ、その結果こういう形でまとまったわけです。何回か前の審議会で、他都市の将来像をいろいろ見せていただきました。今までの東久留米のほしい30年間、第1次から第3次長期総合計画まで都心のベッドタウン的なイメージのまちづくりの将来像がずっと続いてきたわけですが、前回からそうではなくて活力を入れようということになったわけです。これからさらに日本全体、あるいは都市が衰退していく中で活力とかにぎわいとかいきいきとか、そういったことは絶対に必要なものだと思いますので、私としては、いろいろあると思いますがこれでよくまとまっているのではないかと思います。

【会長】

「いきいき」と「活力」は意味が重なっていますがその点はいかがですか。

【副会長】

「いきいき」というのは経済的な面でもありますが、人が喜んでこのまちでいろいろな形でわいわい言いながらいきいきと生きているという、そういう面もかなり出ていると思いますので、そういったところを考えてこれで良いのかなというふうに思います。

【〇〇委員】

これを見ると素直に受け取れるのですが、やはり「生き生き」と漢字で書くと「活」が3つつながることにもなってしまいますのでやはり気になります。例えば「魅力」みたいなものに置き換えると「いきいきと魅力ある」というふうになるのですが、線が弱いですよ。

【会長】

まちの将来像として「いきいき」を生かすか「活力」を生かすかですが、例えば「活力と魅力あふれる」などはいかがでしょう。

【〇〇委員】

「活力」は確か前にも使っていたような気がします。だから少し変えても良いのかなと。「いきいき」というのは、経済も含め、人も経済も、いろいろな意味で代表できる言葉だと思いますので、そういう意味では「いきいき」を生かして、魅力が良いのか、ほかに良い言葉があればと思います。

【会長】

まちの将来像を説明する文章に「魅力あふれる」と出てきていますから、そこから活用はできないでしょうか。

【〇〇委員】

「いきいき」というのは平成23年度から多摩六都の広域連携プランの中で「だれもが生き生きと健やかに暮らせる地域の創造」とあります。

【会長】

これまでに使われたことがある言葉は使ってはいけないということもないと思います。まちの将来像を説明する文章をうまく表現できるようなキャッチフレーズということで考えていただくと良いのではないのでしょうか。

【〇〇委員】

まちの将来像のA案・B案・C案があった中に「にぎわい」とか「にぎわう」というワードがあるとこれからのイメージとして良いのかなと思っていました。例えば「にぎわいと活力あふれる湧水のまち」はいかがでしょうか。私も「いきいき」と「活力」にはどうも引っかかりがあるので、どちらも良い言葉なのですが、重ねるよりほかの言葉を入れたほうがよりイメージが広がるかなと感じます。ですので、「魅力あふれる」はもちろん結構なのですが、この2つの案に登場している「にぎわい」というのがあればイメージが広がるかなと思いました。

「いきいき」を生かすとすればやはり「魅力あふれる」となるのではないかと思います。まちの将来像を説明する文章で「魅力あふれる」と言っているのです、違うワードが挙がっても良いのかもかもしれませんと思いました。

【副会長】

「魅力あふれる」というと概念が広すぎるのではないのでしょうか。なぜ魅力あふれるなのかという活力があるからとか、緑があるからとか、水があるとか、いきいきとしているから魅力があるのだということになると思います。ですので、ここで「魅力あふれる」と入れてしまうと将来像というのとは違和感があります。

【会長】

もう1つ、「にぎわいと活力あふれる」という御提案がありましたが、それはどうでしょうか。

【〇〇委員】

この間も「輝き」という言葉が出ていたと思いますが、「輝き活力ある湧水のまち」ですと、輝くという言葉は、人が輝くとも使えるし、まちが輝く、水がきらきら輝くといろいろな言葉にかけられます。「輝く」は落ちてしまいましたが、それも良かったという気がしました。

【〇〇委員】

この将来像というのは、小さいお子さんもわかるようにしたほうが良いのか、大人向けなのかどちらでしょうか。

【会長】

まちの将来像はすべての人に向けられます。

【〇〇委員】

そうすると、「いきいき」というと子どもでもわかると思うのですが、全部わからなくても子どもでもわかるワードが入っているほうが私は良いかなと思うのです。なので、「いきいき」というのは表情もそうだし、全体的な健康的なこととか全部含まれるのでイメージが湧きやすいのではないかなという印象は受けています。

【会長】

「いきいき」ということですね。

【〇〇委員】

はい。でも、その後がうまくつながられるかどうか。

【〇〇委員】

3つ重なっても悪くないと思うのですが。

【副会長】

「いきいき」と「活力」は違うと思うんですね。

【会長】

でも、パッと見て「おや？」と思う人はかなりいると思うんですね。

【〇〇委員】

私はこれで良いと思っています。

【〇〇委員】

本当は大事なことなのです。このまちがどんな未来を目指すのかということをしてできるだけシンプルにわかりやすく皆さんに伝えるという役割があるので、ここはかなり真剣に悩んだほうが良いと思います。

【〇〇委員】

市全体で小さなお子さんからお年寄りまでが活力を持って湧水のまちで生きていく。そうすると、その人たちに何があれば良いのかと考えたときに、「喜び」というのはどうでしょうか。「喜びと活力ある」。「喜び」が全部を表現するかどうかはわからないのですが。

【事務局】

事務局の意図を少し説明させていただくと、まちの将来像の説明をどうやって「まちの将来像」のところで表現しているのかということで、この資料1の2ページ4行目、「未来に希望を持って一人ひとりがいきいきと暮らす」といつている部分と、「人々が行き交い魅力あふれるまち」といつているところ。ここの言葉を短いセンテンスで拾っていくと、「いきいき」と「活力」というのが単語として最後に残り、今のところは案として示している状況です。ですので、そこが印象的にはダブったようなイメージも多少あるのですが、意味合い的にはまちの将来像の文章を拾いながら言葉をつなげてきたというところがあります。

【事務局】

皆さんもイメージはできていると思うのですが、それを言葉でどういうふうに表示かと

いうところですね。

【〇〇委員】

「輝き」を使って「いきいきと輝く湧水のまち」。水が輝くみたいになってしまうかもしれない。

【事務局】

そうですね。「輝く」というと後ろに引っかかっているように見えてしまう。

【〇〇委員】

まちの将来像の説明文章には「潤い」というのもあるので、「いきいきと潤いのある」というのは変でしょうか。経済的な活力を入れたいといけないという話がありました。「活力」が経済だとして、健康などは「いきいき」で表現できるかもしれません。

【〇〇委員】

では、これで良いのではないですか。

【会長】

良いですか。

【〇〇委員】

3名が賛成しています。

【副会長】

4名です。

【事務局】

この先、市民からの意見聴取を実施するのですが、そうしたら市民からまちの将来像について御指摘は来るでしょうね。

【〇〇委員】

では「生き生き」としたらどうですか。「活」のイメージを与えないように。

【〇〇委員】

多摩六都との差別化を図るためにもひらがなのほうが良いかもしれませんね。

【〇〇委員】

「にぎわいと活力」でも問題ないけれど、「一人ひとりがいきいきと暮らす」ということが「にぎわい」で表現できているかという点は気になります。

【事務局】

忠実に言葉の意味を拾うとそういうことになるのだと思いますが、にぎわいが生まれる前提は一人ひとりがいきいきと暮らすということで、「いきいき」というキーワードはやはり入れたいのです。入れたいというのは、キャッチコピーの中に入れるか、それを表す文章の中に入れるかということはあるのですが、「にぎわいと活力あふれるまち」であっても、

文章内に「いきいき」がそれを裏づける状態として書かれている分には私は問題ないと思います。

【〇〇委員】

「にぎわい」というのは情景なのです。ですから違うものになってしまうと思います。

【事務局】

情景はあふれないということですか。

【〇〇委員】

みんながいきいきと暮らしているからにぎわいも生まれるだろうし。そういうことですよ。

【会長】

ではこれでいきますか。市民からの意見聴取でたくさん意見が来そうですが。

【事務局】

市民からの意見は募集しますので、また何か意見が出るかもしれませんが。

【〇〇委員】

あとはまちの将来像にある「と」と「ある」と取ってしまうか。

【会長】

「いきいき活力」。それでは余計にトリプル感が増します。これは、また後で戻ってきて議論しましょう。基本理念のほうはいかがですか。

【〇〇委員】

その前によろしいですか。事前にお配りした先ほどの委員提供資料1「水と緑と土」が出てくる総合計画について、前回〇〇委員が土を表現に入れたらどうかということで、こういう形で浜松市は「水と緑と土をいかす都市環境」という形で出ていますし、この将来像の中の「水や緑が織りなす風景」というところを「水と緑と土が織りなす風景」にしてはいかがでしょうかと思います。そうすると、水と農業と緑が入りますね。

【会長】

文章を「水と緑と土が織りなす」に修正します。キャッチフレーズはまた後で戻ることにして、基本理念のほうはいかがですか。「みんなが主役のまちづくり」。こちらはよろしいでしょうか。「共に創る」も入っていますね。こちらもよろしければ、資料1の3ページに進みましょう。

【事務局】

資料1の3ページからは、まちづくりの基本目標でございます。どの柱についてもそれほど大きく変わってはおりませんが、御意見を頂いて書き換えた部分について簡潔に御説明したいと思います。

まず、「共に創るにぎわいあふれるまち」の2行目の「魅力価値を創出するためには生産者と消費者がつながりを持ち」の部分について、前回のイメージではこれが欠落しており

ました。また、その2行下あたり、「意識が薄れている中、地域住民が互いに助け合い」の部分について、前回まではこれが入ってなくて「だれもが地域の」という表現で文章がつながっていました。また、その下の「今後特に」から始まる段落の「生涯学習活動に取り組めるよう」の部分については、前は「取り組むことで健康を維持し」とつながっていたのですが、「取り組めるよう学びの機会を増やすなどし」というフレーズを追加しています。その下「地域の課題解決に関わっていく」とありましたが「主体的」という言葉を入れています。文章中の大きな変更点は、その下の太字で書かれている部分が重要な部分になるわけですが、この2行目「事業者等とともに産業の活性化を図るとともに」という表現を加えています。いずれも御意見を頂いての対応ということでございます。

次の基本的な施策の名称はこれまですべて「仮」で入れておりましたが、御意見を頂戴し、「仮」を外しています。「地域産業の活性化」としておりましたのは「地域経済の活性化」と改めております。あわせて文中の「産業」を「経済」に書き換えています。都市農業の振興については目出しするということでしたのでそのように修正しています。

続いて「地域力の向上」があります。前回までは「地域活動への支援」という施策名称になっていました。また、「生涯学習社会の構築」については、名称は変わっておりません。ただ、書かれていることは生涯学習の概念として旧来の内容であるといったお話もあり、1行目から2行目にかけて全体を見直すような書き方にしています。「生涯を通じて常にみずからが社会づくりの主体であるという自覚のもとにあらゆる世代が社会活動に参加し」という部分です。前は「スポーツや分野、芸術に親しみ、みずから学べる学習機会の充実や活躍できる場の充実を図る」となっておりました。

【会長】

それでは、「共に創るにぎわいあふれるまち」の説明の文章と基本的な施策についてはいかがでしょうか。

【〇〇委員】

生涯学習社会の構築のところで、私は「あらゆる世代が学び合い、社会活動、経済活動に参加し」というくらいまで文章表現を広げてもよろしいのではないかと思います。それが先ほどの10次産業のような話になって、教育と学習というのはお互いに学び合う、いろいろな場において学び合うということで「学び合う」という言葉が入って、「あらゆる世代が学び合い、社会活動」、社会活動の中に経済活動も入ると思うのですが、環境・経済・社会でいえば社会活動と経済活動という形で盛り込んでも良いのではないかと思います。つまり、従来の教育・学習よりも今回はにぎわいあふれるまちという経済が関係するところに学習が入ってきていますので、それを入れても良いのかなというふうに考えます。

【会長】

この文章は、「社会活動に参画し」までは市民側に立った文章で、それ以降の「学習機会の充実云々」というのは市側のスタンスからの文章で、それが一文になってしまっているので立場がどちらのものなのかわからなくなってしまっているということがあります。2つの文章に分ければ、〇〇委員がおっしゃったような、市民としてはこういうスタンスでお互いに学び合い、社会・経済活動とまとめても良いかもしれませんが、「参加できるよう」かもしれませんね。市がつくる基本構想なので、市側から見た場合の市民の姿、それをサポートするために市が何をやっていくのかを表現する文章とすべきかと思います。

【〇〇委員】

ではいっそ「社会・経済・環境活動」にしませんか。

【会長】

広い意味では「社会活動」にすべて入ってしまうので、3つ並べてしまうとむしろおかしいのではないのでしょうか。

【〇〇委員】

生涯学習社会の構築の部分だけ、書きぶりが市側の文章と市民側の文章の2つに分かれてしまっています。本当は市側の文章で通すなら「参画できるように」とかいうふうに修正したほうがよろしいのではないのでしょうか。

【会長】

「社会活動」という表現でよろしいですか。そして、市のスタンスに立って「あらゆる世代が学び合い」と入れるかという点はいかがでしょう。

【〇〇委員】

市側の文章としたら「学び合える」でしょうね。

【会長】

「学び合い社会活動に参画できるよう」市がこういうことをしていきますという文章ですかね。

【〇〇委員】

相互作用の側面も表現したいということだと思いますので、どなたの立場だったの文章なのかを調整していただければと思います。

【会長】

「あらゆる世代が学び合い」ということでしょうか。

【副会長】

基本的施策の「生涯学習社会の構築」については、はじめの1行半とあとの1行半は順序が逆のような気がするのです。基本目標の「にぎわいあふれるまち」の中にこれを入れたからこういう形になってしまったのだらうと思います。ですが、やはりここに入れることには違和感があり、もしどうしてもここに入れるとすると、生涯学習というのは人間が自分の人格を磨いて豊かな幸せな生活を送ることができるように生涯にわたっていつでもどこでもいろいろな場所で学習して、その成果を社会に活かすことができるような社会をつくるのが生涯学習社会だと思っています。ですのでそれを文の前半にもってきて、それで生涯学習社会の構築に努め、その後上りの1行半くらいの文章が入ったほうが、生涯学習の意味としてはぴったり来るのかなと思うのですが。社会づくりの主体とか社会活動に参加するというのは、自分が生涯学習に携わった結果ですよ。

【会長】

そうです。ですからこういう状態を目指してこのようなことに努めますという文章になれば良いのではないかと思います。

【事務局】

資料1の2ページは中間答申をいただいた後に大幅に修正することはなかなか難しいかと思いますが、3ページ以降は今後まだ議論の余地があるかと思っております。なので、ここまでのところで頂いた御意見をいったん形にさせていただいて、中間答申は区切りですのでここで整理させていただくということでよろしければ、反映させていただくということでもよろしいでしょうか。

【会長】

そうですね。今日の意見を反映して修正を加えて中間答申にするということですね。

【事務局】

御議論いただく中で気づいたことなのですが、基本目標の文章にはスポーツの話も書かれていながら、基本的な施策の文章ではそれが盛り込まれていません。やはりここでは出てくるべきかなと思いますので、そういうことも含めて修正を行います。

【会長】

スポーツの話は生涯学習のところですね。

【〇〇委員】

今おっしゃっていた生涯学習の文章は何となく旧態依然なのです。ここに生涯学習を入れるということはみんなが一生にわたって学んでいながら豊かな生活を送っていくということが書かれていたほうが良いかなと思います。

【会長】

基本目標の文章の中ということですか。

【〇〇委員】

そうですね。高齢者が出てきて、スポーツが出てきて、生涯学習が出てくるということよりは、生涯学習というのはこういうふうに考えますよということが出てきたほうが良いと思います。

【〇〇委員】

業を起こしてもらって雇用してもらって納税する。それにつながる学び合い。さきほど小麦の話をしました。本当に柳久保小麦というものを使っていろいろなものにチャレンジして、いろいろなものに変えていくということでそれが一つ製品化している。かりんとうとかうどん、ラーメンにもなっていますが、もう少し違う展開があるのではないかと思います。

この間、自由学園ではどちらかというと飼料とかにしてあまり食べなくなっているライ麦を活用したクッキーを作りました。ライ麦は緑色をしていて、まるで抹茶クッキーみたいな非常にきれいな色で、とろみがあるものですから、いわゆるサクサクとしたクッキーとは違うとろとした後味が非常に好評で、そういう新製品みたいな話はもちろんそれだけではなくて、いろいろ今までにないことにつながっていかないかなと思います。お互いに麦の収穫祭に参加している85グループのいろいろな人たちがいて、アクセサリーみたいなものもありますが、そういう中でヒントを得てこういうことができないかとか、そういうことが学び合いの具体的なイメージかなと思います。

【会長】

そういう状態をうまく創出してサポートしていくために市として何をやるかということを表すのがこの文章の役割でもあると思います。学び合う関係構築を図っていき、地域の活動の活性化なり経済の活性化、もしくは新規事業の創出につなげていく活動を市民が主体性を持って行い、市がどのようにその活動をサポートするかということを書いておきたいですね。

【〇〇委員】

市であれば、学び合いの場を提供するという点でも良いのかもしれない。

【〇〇委員】

もう1つ、確認です。さっきおっしゃったように、資料1の3ページ以降はパブリックコメントの後でも変更は可能なですね。

【事務局】

可能です。

【〇〇委員】

ただ、施策の体系は変更が難しいでしょう。

【事務局】

絶対に変更ができないかということもありません。

【会長】

施策の体系は骨組みとなる部分ですので今までに議論してきて、一応これで整理しようということでした。

【〇〇委員】

ここでいう基本目標と基本的な施策というのは、ある程度今日決めておかなければいけないということですか。

【会長】

基本目標と基本施策の体系はすでに議論して、一応これでいくという合意がなされているかと思いますが。

【〇〇委員】

ただ、今の生涯学習の構築みたいな話は少し中身の話ではないでしょうか。このワーディングで良いのかという点も気になります。

【事務局】

その辺の御議論はまだいただけるかなと思いますが、体系そのものが変わってしまうと、それはまたなかなか難しいかなとは思っています。

【〇〇委員】

さっきおっしゃったスポーツの話はどこに入れるかというのは、生涯学習の中に入れるのか抜き出して別の箇所に入れるかで、公園の整備とかスポーツ施設の整備みたいな話になってしまうのでまた話が変わるのでしょうかね。

【〇〇委員】

行政の区分の中で生涯学習課の中にスポーツと社会教育が入っているというところからして、施策と結びつけるときに一緒にここにワードを入れたいということになってきますよね。

【事務局】

絶対に入っていないければいけないかということはあるんですが、そうですね。

【〇〇委員】

ここでまとめて扱ったほうが、行政を進めていく上ではやりやすいかなという気持ちはします。スポーツを別のところに入れてしまうよりも、この中に加えたほうが良いのかなとは思いますが。

【〇〇委員】

スポーツに親しめる環境づくりとなると、体育館であったり公園であったり、学習というより別な意味合いが出てきてしまいますよね。それもあるのですが。

【〇〇委員】

でもここは広げておいて、その中で基本的な施策をうたうのであれば、基本目標の文章に「親しめる」という言葉が入っていたとしても違和感はないと思うのです。また別のところにスポーツを持っていくよりも、ここで一緒に扱ったほうが良いと思います。

もう1つ、文章は修正されるということですが、市が市民の様々な活動に対してどういう方向性で事業をやっていきますということを表現するものなので、基本的な施策の「生涯学習社会の構築」のところで「社会づくりの主体である自覚のもとに」という表現があるのは気になります。ここは違う言い方にさせていただいたほうがよろしいかと思えます。

【会長】

そうですね。

【〇〇委員】

反発を覚える方もいらっしゃるのではないかと思います。

【会長】

いずれにしても生涯学習のところは、文章をもう一度考えていただいて修正することですね。

【〇〇委員】

それから「社会の構築」というワーディングは後の環境のところにも「社会の実現」と並んでビッグワードですよね。それはよろしいのですか。

【事務局】

もし御意見をいただければ、ここで変えてしまうのも良いかなと思います。

【会長】

表現としては「生涯学習の推進」くらいですよね。社会構築というと急に大きくなりますね。

【〇〇委員】

「生涯学習環境の構築」とか。あるいは「環境づくり」とかはいかがでしょうか。

【〇〇委員】

「生涯学習への環境づくり」くらいのほうが良いかもしれないですね。

【会長】

ここはまだ後でも直せますから。「社会構築」はあまりにも大きすぎるので、とりあえず「生涯学習の推進」くらいにしておいて、文章は事務局にきれいに直していただくということをお願いします。

【〇〇委員】

スポーツに親しめる環境づくりということで、私としては音楽文化とか文化・芸術とかそういうものを入れていただけると良いと思います。

【事務局】

文化・芸術のようなキーワードに落としこむように検討します。

【〇〇委員】

資料1の3ページの基本的な施策にある「都市農業の振興」の文章を読んでいくと、パッと見は農産物の生産だけのことをいっているような文章のような気がするのです。都市農業という、確かに農産物の供給というのは大きな役割なのですが、農業体験の場とか災害時のオープンスペースとか緑地空間とか、いわゆる多面的な要素が非常に尊ばれている状況があります。ですので、この文章を活かしていくなら「都市型農業の振興」とか、「型」というものを入れていけば、ある程度そこは網羅したものになるのかなという気がするのですが。「多面的な役割」と一言でいうならそういう形で言葉として入れていくのも良いのかなと思います。

【〇〇委員】

この間配っていただいた資料の農業振興計画のほうはうまくコンパクトにまとまっていたのではかと思えます。

【会長】

そういった農業もしくは農地の持つ多面的な機能をもう少しここで表してほしいということですね。

【事務局】

中間答申後に皆さんに御議論いただく「土地利用の方針」が基本構想の中にありまして、今回も「土地利用の方針」は計画内に入ってくるだろうと思います。その個所に、第4次

長期総合計画でも「農地の保全」という括りで、〇〇委員がおっしゃったような多面的な機能に関する文章が出てくるのです。それがあからここでは盛り込まないということでもありませんが。

【〇〇委員】

あれは施策ごとのものだから、入れるのだったら基本的な施策の部分にも入れたほうが良いと思います。ワードとして「多面的機能」と入っていれば、後につながりやすいのかなど。

【会長】

そうですね。お願いします。次に行ってもよろしいですか。では資料1の4ページをお願いします。

【事務局】

次は基本目標「安心して快適にすごせるまち」です。基本目標名、施策名に変更はございません。ただ、基本目標の下にある文章の太字で表しているところ、昨今の災害の状況を鑑みて記載が少し表現が薄いのではないかというお話がございました。ですので「地震や台風、豪雨などによる災害に強く」という言葉を入れて、以降は前回同様ということにしております。

【会長】

ここについていかがでしょうか。大丈夫そうですか。ありがとうございます。では、資料1の5ページをお願いします。

【事務局】

資料1の5ページは基本目標「いきいきと健康に暮らせるまち」です。前回までは「自分らしい暮らしができるまち」としておりました。この基本目標を今回「いきいきと健康にくらせるまち」としております。これを説明する文章中、6行目の生活の質というところでクオリティ・オブ・ライフという文言を追記しています。

以降は特に変更はございませんが、基本的な施策の3つ目「健やかな生活を支える保健医療の推進」という名称ですが、前回までは「健康を支える保健医療の充実」としており、文章も「健康寿命延伸に向けた取り組みを推進するとともに、誰もが安心して医療を受けられるよう」としておりましたが、今回は「誰もがいつまでも健康でいられるよう健康づくりへの取り組みを推進するとともに、安心して医療を受けられる」と、医療が前面に出ていた文章を変更しています。

【〇〇委員】

保健医療というのは保健と医療が組み合わせられた表現ですが、「安心して医療を受けられる保健医療の充実」というのはどういうものでしょうか。素直に読むとこれは医療体制の充実と読めます。

【事務局】

現構想もそうですが、基本的な施策のタイトルは保健医療という言葉でも良いかもしれませんが、文章説明では保険と医療は切り分けて文章を整理したほうが良いかもしれませんね。

【〇〇委員】

これでは保健で病気を治すように読めます。本来、保健というのは病気になる前のケアが中心ですから、一緒に書かれてしまうとよくわからないと思います。

【事務局】

文章を整理したいと思います。

【〇〇委員】

高齢者の基本的な施策の中で、「安心して暮らせる」の意味をどこまで広げるかですが、高齢者の就労支援というのはこれから重要なテーマだと思いますが、そういうことはどこかに入りますか。

【会長】

その話は前にも出てきていましたね。生涯学習のほうで加味するのかという点ですね。

【〇〇委員】

ただ、就労支援となると現実に仕事があるわけですね。

【事務局】

そうですね。ただ、今回は「いきいき」というキーワードをあえてつけていますので、こちらのほうに入れたほうが良いということかもしれません。

【〇〇委員】

では、「安心して暮らせる」というほうに一言書き込んでいただければと思います。

【事務局】

そういったニュアンスを盛り込みます。

【会長】

そうすると、高齢者も「安心して」だけでなくいきいきと暮らすのか。これは、高齢者は「安心して」、障害者は「いきいき」というふうに使分けられているような気がしますが並べてみると何かおかしいですね。

【事務局】

これは前回まで「高齢者福祉の推進・障害者福祉の推進」だったのです。皆さんから味気ないということで、何か入れなければという思いで記載しました。ただ、それぞれの上位計画では当然のようにセットで使われているワーディングではあるということです。

【会長】

「いきいき」で統一するという考え方はありますね。

【〇〇委員】

基本目標が「いきいき」となっているから、高齢者も「いきいき」が良いのではないですか。

【〇〇委員】

もう「安心」ではないでしょう。現場の第一線で頑張らなければいけないと思います。

【〇〇委員】

「安心して」というと能動的ではないですね。基本的に、みんなで支えてくださいというような、そんなイメージを受けますね。

【事務局】

では、表現をそろえましょうか。

【〇〇委員】

表現をそろえるか、「いきいきと安心して暮らせる」というように両方入れるかですよ。

【会長】

では、「いきいきと」の前提に安心があるということで統一しますか。

【〇〇委員】

基本目標の文章の4行目にも「安心して暮らしていくためには」と書いてあるので、基本的な施策は「いきいきと」で表現をそろえたほうが私はあらゆる人がいきいきと生きてほしいということでは良いだろうと思います。これを見たときに、「同じ文章か」というイメージがあるかもしれないが、あえて同じワードを使うという。

【〇〇委員】

基本目標の文章は、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせると書いてあって、それが高齢者に使われているという。不思議ですね。

【〇〇委員】

基本目標の文章は「高齢者も障害者も」という表現にしてはいけないのですか。

【事務局】

基本目標の文章は整理が必要ですね。

【〇〇委員】

「も」を入れると良いですね。

【会長】

「誰もが」ということですね。

【〇〇委員】

今の高齢者にはお元気な方が多いから。

【〇〇委員】

高齢者は元気に外へ出ていくという。本当にサポートが必要な人はもちろんしっかり支えるというイメージ。

【会長】

この文章のところは、「高齢者も障害者も誰もが」というような形にさせていただいて、基本的な施策は「いきいきと」で表現を統一していただければと思います。3つ目の保健医療のところは、保健と医療を切り分けて整理していただくということによろしいでしょうか。では資料1の6ページをお願いします。

【事務局】

資料1の6ページは基本目標名から変わっています。前回までは「子どもの生きる力を育むまち」としておりましたが、「子どもが豊かに成長できるまち」ということで、新学習指導要領から多くを引用していましたが、委員の御意見に基づきまして東久留米らしさといったところで、教育委員会のほうの考えも十分に斟酌して今回書き換えています。

タイトルはそういったことで書き換えておまして、文章中で変わった主な部分としては基本目標を説明するところで「よりよい社会や人生を切り開いていく力や市の自然や産業を学びながら、地域や産業を支え発展させる子どもを育成することが必要です」ということで、これは本市オリジナルの文章になっています。

基本的な施策の名称については変わっておりません。2つ目の「子どもの未来を育む学校づくり」を説明する書きぶりを変えておまして、「世代を超えた様々な人との交流によって児童・生徒が人間性豊かに成長し、社会に出て自立して生きていくための力を身につけることができるよう、子どもの未来を育む学校づくりを進めます」というふうに変えております。かなり手を入れたつもりでおります。

【〇〇委員】

良いですね。なかなか今までは環境学習とかいろいろなことをやろうとしても難しいのです。カリキュラムばかりではないので、いろいろなところと連携を図って人を育てていくことがとても大事だと思います。

【〇〇委員】

文章で気になるのは「市の自然」は「市内」ではないのかなと。もしくは「市にある」とかいうものでないと、意味としては通るのですが、字面的に気になります。

【〇〇委員】

基本目標の文章の「地域や産業を支え発展させる子どもを育成する」は気になります。

【〇〇委員】

これは子どもたちにとって重荷になりそうですね。

【〇〇委員】

地域だけでなく国でも良いし、産業だけでなく教育でも何でも良いのかなと思います。限定的すぎるのではないのでしょうか。

【〇〇委員】

ここは文章のかかり方として、「人生を切り開いていく力や」の次の文章の流れが何となく気になります。

【会長】

「力を身につけ」という表現にしないといけないですね。「市の自然」というところは、「市内」にするにしてもそこに限定しないといけないのでしょうか。

【〇〇委員】

確かに文章的には無理がありますね。

【事務局】

そうですね。基本目標の文章の2段落目は、確かに文章の構成と表現として限定的な部分ということについて、文章のつながりを整理させていただき、「地域や産業」という限定的な言い方はもう少し広範に示すような表現にします。

【会長】

ここはいずれにしても整理が必要なので見直すとして、ほかにはいかがですか。ほかは大丈夫でしょうか。基本的な施策のところもよろしいですか。では資料1の7ページをお願いします。

【事務局】

続いては基本目標「自然と共生する環境にやさしいまち」です。この基本目標名は変わっておりません。基本施策名も変わっておりません。基本目標を説明する文章で冒頭に「東久留米には落合川や黒目川、立野川」と川の名前を続けています。これはご意見を頂いたことによるものでございます。以降、変更点は特にございません。

次に1つ目の基本的な施策の書きぶりを変えています。「水と緑と生きものを守り育てる環境づくり」を説明する文章ですが、「湧水をはじめとする水辺環境や雑木林などの緑」までは同じですが、「そして多様な生きものを保全するとともに、水と触れ合うことのできる環境づくりに努める」という書きぶりにしています。2つ目については特に変更はございません。

【〇〇委員】

さきほども触れましたが、「地球環境にやさしい社会の実現」というのはビッグワードなので、資料を用意しました。委員提供資料2「東久留米市環境基本計画（第2次）と基本構想の環境の箇所」です。ちょうど環境基本計画の基本目標1と2が施策の1と2におおむね対応してしまっていて、今回の基本目標1は水と緑と生きものということで、これは今回の「水と緑と生きものを守り育てる環境づくり」でよろしいのではないかと。

ただ、基本目標2のほうは「社会の実現」という表現はビッグワードなので、環境基本計画の基本目標2の個別目標4とか6に「地球温暖化問題に対応できる暮らしをつくる」「健康で安心できる暮らしをつくる」とうたっていますので、施策2は「環境に負荷をかけない暮らしづくり」ということでいかがかと思えます。

いずれにしても、環境に高負荷をかけた結果が産業公害だったり生活公害だったり地球環境問題になりますので、環境基本条例にもありますが事業者、市民、行政ともに環境に負荷をかけないということが基本です。ですので、「環境に負荷をかけない暮らしづくり」ということではいかがかということです。

【会長】

そういう御提案ですがいかがでしょうか。「地球環境にやさしい暮らしの実現」ではどう

ですか。

【〇〇委員】

「地球環境」というのもビッグワードなので、ゴミの分別とかもつたいないとか、できることから始めようというのは環境意識を持ってもらうためには大事なのですが、下手をすると対症療法で、プラスチックのような問題の全体像から目をそらすことにもなります。ですので、こういう入り口の見直しにもつながるという意味で、基本的には環境に負荷をかけないというのがキーワードかなと思います。

【会長】

おっしゃることはわかりました。他の基本施策の表現の仕方として、どういう状態にしたいのかというポジティブな表現になっていまして、負荷をかけないことでどういう状態を実現したいのかということがこの施策のテーマになるのかなと思うのですが、そこはどうでしょうか。

【事務局】

資料1の9ページを御覧いただくと、いま会長がおっしゃったことが見て取れますが、先ほど御指摘いただいた「生涯学習社会の構築」と「地球環境にやさしい社会の実現」というのは表現として大変に大きいという印象は事務局としても実はありました。ですので、そういった視点での御指摘かなと事務局としては受け止めております。

【〇〇委員】

ミッションを出すときに抽象的なものより具体的に行動に移せるということがミッションかと思います。

【会長】

「地球環境にやさしい」とは何なのかというと環境に負荷をかけないということで、目指すところは同じですが、「やさしい」というと漠然とする感じはありますね。

【〇〇委員】

一般受けはしないかもしれませんが、表現としては正しいですね。

【〇〇委員】

でも、個別目標には2つも入っていますから。

【〇〇委員】

「負荷をかけない」という表現です。

【〇〇委員】

誰にでもわかりやすいという意味で、「環境にやさしい暮らしづくり」というのは耳になじみやすいとは思いますが。やるべきことという点で、ストレートに伝わるとは思います。

【会長】

環境基本計画のレベルと基本構想のレベルとでは表現の仕方は違って良いのかなという気もします。

【〇〇委員】

特段表現にはこだわらないですよ。

【会長】

では「地球」という文言は取って「環境にやさしい暮らしづくり」でいかがでしょうか。

【〇〇委員】

施策のほうは「～づくり」という表現が多い。逆に全部を「～づくり」にするという手も。ほかのところでも「まちづくり」で全部統一するとかいうことはよくあります。

【会長】

では、「環境にやさしい暮らしづくり」ということにさせていただきます。

【〇〇委員】

中身でぜひ「負荷をかけない」という内容を盛り込んでいただければと思います。

【会長】

「環境負荷の低減」という言葉は、文章の中にぜひ入れていただければと思います。

【〇〇委員】

自然と共生するということで土というものが入ってきているということがありました。表土があって水があってそれが湧水につながっているというようなことなので、それを何か書き込めないものでしょうかと皆さんに御提案です。せつかく川がこれだけいっぱい出てきているので。

【〇〇委員】

2行目の「水と緑と生きもの」という文章のほうに土を入れると良いかもしれませんね。ただ、施策のほうは文章が長くなるのでこのままでも良いのかなとは思いますが。2行目のところで「水と緑と土と生きもの」と4つを並べる。

小学校の教科書にも引用のある、『水と緑と土』という有名な本がありますので、違和感はないと思います。

【会長】

では、2行目を「水と緑と土と生きもの」という表現でよろしいでしょうか。環境負荷の低減という言葉は基本的な施策の「環境にやさしい暮らしづくり」のところに入れていただくということにできればと思います。それでは資料1の8ページをお願いします。

【事務局】

「基本構想実現のために」については協働の部分と持続可能な行財政運営に大きな変更はありません。先ほど冒頭に御説明しましたようにまちづくりの基本理念を整理した関係で、改めて互いに尊重し合える意識の醸成ということで、ここに平和や人権のテーマが記載されております。

細かい部分ですが、持続可能な行財政運営のところでも今「自治体戦略 2040 構想」ということで国から一定の方向が出ているのですが、A I とかロボティクス、スマートシティ

といったものが前面に打ち出されています。それらのことを「破壊的技術」と言っているのですが、今回はあえてそれを「革新的技術」という表現に変えています。その点も含めて何か御意見があればということで説明は以上でございます。

【会長】

いかがでしょうか。この部分はよろしいですか。

【副会長】

妥当な表現だと思います。

【〇〇委員】

資料の前の部分に戻ってよろしいですか。というのは、互いに尊重し合えるという中で、子どもを育てる環境づくりというのが女性を指しているように見えてしまう文章かなと気になりますがいかがでしょうか。「育てる」のは最近、男の育児参加もあって、かなり世の中でクローズアップされていますよね。これだと何となく育てるのは女性かなという感じがすると思います。

【会長】

表現は「生み育てる」になっているから、生むのは女性ですが、子どもを持つというのは女性だけに限定されない意味ですよ。

【〇〇委員】

「生み」でカンマを入れたらどうですか。

【〇〇委員】

そうなのです。カンマを入れればまだ違和感は小さいですね。

【事務局】

第4次までは、「子どもが健やかに生まれ育つ」だったので子ども視点で、「育つことへの支援」となっていて全体を見ると変な感じもするのですが、確かに視点が変わっているということはあるかと思います。

【〇〇委員】

こういう視点で良いと思いますが、男も参加するんだよということがもう少しわかったほうが良い気がします。

【〇〇委員】

「生み、育てる」でも良いかと思うのですが、育てることにパートナーである男性が参加することは当たり前と私たちは思っているので、あまり違和感はないです。

【会長】

生むときにもサポートするものだと思いますし。

【〇〇委員】

そうですね。それならもう少し育児休暇を男が取っても良いような気がします。

【〇〇委員】

こちらとしては取ってもらうのが当たり前だと思うし、違和感はないですね。

【〇〇委員】

女性が違和感がなければ良いのですが、育児休暇を取るとか、そういうサポートが今後は男性に必要なようになってくることは事実ではないかと思います。

【〇〇委員】

サポートというより、子育てする気持ちを持つことが大事で、そこを教育していくことが大事だと思います。

【会長】

資料1の9ページ以降は大丈夫ですか。資料1の9ページは、このような体系でいくことは前回までに御議論いただいたところですので御確認いただいて、10ページはこれまでの経過ですね。11ページも御確認いただいて、最後に一番難しい将来像に議論を戻りたいと思います。

【〇〇委員】

基本目標の3で「いきいきと健康に暮らせるまち」というのがありますよね。この中で「いきいき」という言葉が2つ出てくるのですが、これはすべて人間の精神的な状態を指していますよね。ですから、私ははじめの将来像の中でも「いきいき」のほうが「活力」よりも人間の精神の状態を表しているというふうにするのではないかと思います。

【〇〇委員】

資料1の5ページは「いきいきと暮らせる」とセットになっているのですが、「いきいき」だけでは少し違和感があります。「活力ある」というのはそれでわかるのですが、いきいきと何なのか。

【会長】

「いきいきと暮らし活力ある」とか、いきいきと何をするかというところがないとおかしいんですね。

【〇〇委員】

〇〇委員から五七五の案はなかったのでしょうか。

【事務局】

ございました。〇〇委員は「笑顔」とか、先ほど〇〇委員もおっしゃっていましたが「輝く」とか「きらめく」とかその辺を推薦していらっしゃいました。

【〇〇委員】

これ以上文言が長くなってはいけないのですか。

【会長】

どうなのでしょうね。私も「笑顔」は意見として出したのです。寄せていただいた皆さま

んの御意見をそのまま紹介してみていただけませんか。

【事務局】

「笑顔いっぱい」「笑顔きらめく」「瞳きらめく」「命きらめく」。それから「みんないきいき湧水のまち」。それから「ともにつくる活気と笑顔あふれる湧水のまち」。あとは「みんなで築く」「みんなが主役」「私が主役」。

【会長】

「活気」よりは「活力」なんですか。

【〇〇委員】

「活気ある」というと状態のことになってしまう。「活力」というのはパワーですよ。

【事務局】

そうですね。「活力」のほうが何となく経済環境も含めた意味合いに近いかなという感じがしますね。

【会長】

それは外したくないですね。

【事務局】

できれば、そちらを維持していかないと厳しいということが見えているので。

【会長】

おそらく「活力ある湧水のまち東久留米」は何となく固まっていて、最初の出だしをどう表現するかですね。

【事務局】

「にぎわいと活力」というのも悪くはないのですが、ニュアンスをどう取るかということとはありますが、逆に「にぎわい」と「活力」は近い言葉なので。

【〇〇委員】

「活力ある湧水のまち」というと、イメージが合わないですね。

【事務局】

「にぎわう湧水のまち」なら良いですか。

【〇〇委員】

湧水がにぎわっているように聞こえる気がします。

【事務局】

「湧水のまち東久留米」をセットにして、そう読めるように「湧水のまち東久留米」をダブルコーテーションで囲ってしまうというテクニックもあります。

【〇〇委員】

それが良いと思いますね。

【事務局】

前は「自然とつながり活力あるまち」をダブルコーテーションで囲っているのです。

【会長】

東久留米のシンボリックなものとして出しているので「湧水のまち東久留米」がワンセットということですね。そして、どういう状態にしたいのかを表す言葉をその前段に表現したいということです。

【事務局】

活力あふれてにぎわいたいんですよね。

【会長】

ですから「にぎわいと活力あふれる」ではないですか。

【〇〇委員】

でも、それを支えているのは人ですからね。人が出てこないとやっぱり違和感があります。

【会長】

にぎわいというのは人がつくりだすものだから。

【〇〇委員】

人がどういう状態にあるかがにぎわいです。

【会長】

「暮らす」を入れれば。「いきいきと暮らし、活力あふれる」ではいかがでしょうか。

【〇〇委員】

「いきいきと笑顔あふれる」ではどうですか。

【会長】

「活力」は入れたいのです。

【事務局】

「暮らし」は漢字ですか。「いきいき」はひらがなですね。

【会長】

「いきいきと暮らし活力あふれる湧水のまち東久留米」。反対の方はいませんか。大丈夫ですか。

【〇〇委員】

「いきいきと暮らし」と「活力あふれる」は同じようなイメージですよ。

【会長】

「活力」には地域経済に元気があるとかそういうことも意味合いとして込めているので。

【〇〇委員】

いきいきと暮らすのは人であって、活力あふれるのはまちであるというところで、人の集合体のまちということ表現する言葉があれば。

【〇〇委員】

「まちが潤い」と「魅力」の間に「活力あふれる」というのを入れたら良いのでは。

【〇〇委員】

そうすれば誤解が減るかもしれない。

【〇〇委員】

「活力」も「魅力」ですかね。「活力と魅力あふれる」はどうでしょうか。

【事務局】

「魅力」を「活力」にしても良いでしょうか。

【副会長】

「いきいきと暮らし」というと、将来像というイメージではなくて今いきいきと暮らしているという現状をいっているようなイメージじゃないですかね。あまり将来像という感じはしないですね。

【〇〇委員】

私は「いきいき」というとその人それぞれの本人というイメージですが、「いきいきと暮らし」というと暮らしがいきいきしているというイメージに私は取ってしまいます。人々がいきいきとしているということ表現したいのではないですか。

【〇〇委員】

「いきいき」が下を修飾するイメージで捉えるのか、「いきいき&活力」という2つを結びつけた文章として存在するかによって受け止め方が違ってくると思うのです。この「いきいき」を名詞のようにいきいきとしている様というような意味で捉えたら「いきいき&活力」でもおかしくないのかもしれないのですが、「いきいきと」といってしまうことで修飾しているように受け止められてしまいがちなのだと思うのです。そうするとこの文章がすごく不自然になってしまうという受け止めもできるので、いけないというわけではないのですが、違和感を持つ人もいるのではないかとこのところで工夫が必要になると私は思います。

【副会長】

これは、市民からのいろいろな意見を受けたいうえで変えるということもあるのですか。

【事務局】

変更は厳しいと思います。

【〇〇委員】

「いきいき」、「活力ある」は取ってしまって名詞を2つ並べる。そうすると、人間を表す「いきいき」があるし、それから東久留米のこれからの将来像、活力を持ったまちにしていきたいというものがそこで出てくるのかなという気がするのです。

【会長】

「いきいき」を名詞として使うということですね。

【〇〇委員】

「わくわく健康プラン」のときにも様々な御意見がありましたよね。あのときも受け止め方によってはいろいろな御意見があったかと思うので、それを今回は「いきいき」で押していくか。

【会長】

「いきいき」というのは状態を表す言葉で名詞ではないですよ。

【〇〇委員】

「いきいきと笑顔あふれ活力ある湧水のまち東久留米」。

【事務局】

御提案いただいたところを少し直すとすると、「活力と笑顔あふれる湧水のまち東久留米」もありかなと。「いきいき」という状態を表すところは「笑顔」として、活力は「活力」、両方とも「あふれる」という。イメージしていることは皆さん同じなので、それをどういう言葉で表現するかということですね。

【会長】

人々が幸せにライブリーに生活している状態を表す言葉として「笑顔」と、私は個人的には「笑顔」が良いと思うのですが、いかがですか。「いきいき」という言葉は使い方が難しいので。

【〇〇委員】

「笑顔」というと何かの結果、笑顔になっていくのではないのでしょうか。

【〇〇委員】

常に笑顔でいたいと思えるまちというのは良いことですよ。

【会長】

「活力と笑顔あふれる」はいかがでしょう。

【〇〇委員】

語呂は良いですね。

【会長】

日本語としても良いかと思います。

【副会長】

東村山市の第4次総合計画の将来像が「笑顔あふれる東村山」という表現なのです。

【会長】

活力も入っているのですか。

【副会長】

活力は入っていないです。

【会長】

それなら良いのではないですか。

【〇〇委員】

東村山市だけではなく、「笑顔」という言葉はいろいろな市が使っていると思います。

【〇〇委員】

語呂が良いと先ほどどなたかおっしゃったけれど、やっぱり「あふれる」、「いきいきと活力あふれる」は語呂が良いかなと。

【会長】

「ある」ではなく「あふれる」ですね。「いきいき」が。

【副会長】

「人がいきいき 活力あふれる湧水のまち東久留米」。

【会長】

「希望」という言葉はどうか。

【副会長】

「活力と希望あふれる湧水のまち東久留米」。

【〇〇委員】

今は希望がないみたい。

【会長】

ないのではなく、あふれるんですよ。

【〇〇委員】

この前の議論では短い言葉でということが出たと思うのですが、それで宿題ということがあったのですが私がばたばたしてお伝えすることができなかったのですが、私はまったく違う言葉で「幸せ実感 湧水のまち東久留米」が良いかなと思っていたのです。これは人も何もすべてが幸せを実感できるまちみたいな感じで、短いし良いかなと。それをお伝えしようと思いつつ、いろいろな用事が重なってしまってお伝えしていなかったのですが。

【会長】

それは人ですよ。経済の状態を表す言葉も入れたいのです。「活力」を入れたいのです。

【〇〇委員】

「幸せ実感 活力あふれる」。

【会長】

どうでしょうか。「活力と」が最初に来て、「幸せ実感」「希望」。あふれさせたいものは活力ともう一つは何なのか。

【〇〇委員】

「いきいき」というのは良い言葉だよ。

【〇〇委員】

「活力あふれる」だけでも良いのではないかと。

【〇〇委員】

「活力と幸せあふれる」ではいかがでしょうか。

【会長】

「笑顔」に代わるものとするならば「幸せ」とか「希望」とかそういう言葉が良いかなと思ったのですがいかがでしょうか。「活力と幸せあふれる」、「幸せ」か「笑顔」か「希望」か「喜び」、そのあたりだと思いますが、どうですか。

【〇〇委員】

直接的にそれをうたうというのはやや強すぎるような気がします。希望とか、こういうものは目指したいところということなので、今はないのです。

【会長】

あふれさせるということなので。

【〇〇委員】

もっとという感じが「あふれる」になると。

【〇〇委員】

行政計画などをちらっと見ると、今どきの言葉で「きらめき」とか「輝き」というのが多いんですよ。そういうきれいなイメージを出すような言葉を使っているところが多いですね。でも、より質を取ることであれば、私も「笑顔」を推したいのです。

【会長】

東村山が使っていると問題がありますか。

【〇〇委員】

ピンと来ないですね。

【〇〇委員】

笑顔で暮らせるって大事ですよね。例えば「いきいき」を「元気」にしたら。

【副会長】

笑顔にするより「活力と希望あふれる湧水のまち」がすっきりする気がします。

【〇〇委員】

何となく「いきいき、活力あふれる」で良いような気がするのですが。ぼわっとしていますが。

【〇〇委員】

「、」はキャッチフレーズになじまないのではないですか。「・」ならまだ良いけれど。

【〇〇委員】

空白のスペースをあけるのはだめですか。

【会長】

「みんないきいき 活力あふれる湧水のまち」。人がいきいきということであれば。それでいきますか。

(異議なし)

大丈夫ですか。では、それでいきましょう。

【事務局】

ありがとうございます。

【会長】

ありがとうございました。まだ文章の直すところもありますので、そこはどういうふうにしていくか事務局から説明をお願いします。

【事務局】

いったん事務局のほうで預らせていただきまして、文章を手直しさせていただきます。その後、会長と事務局との調整にお任せいただければと思います。

【会長】

一任ということによろしいですか。

(異議なし)

ありがとうございます。

(4) その他

【会長】

議事次第の4.「その他」について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局より2点ございます。1点目は中間答申後の手続きについてです。資料2を御覧ください。11月1日、予定ですがホームページなどにより中間答申を公表しまして、市民の方から御意見を聴取する予定となっております。頂きました御意見については次回第9回の審議会で報告させていただきたいと考えております。

また、会長をはじめとする学識経験者で選出されている副会長、〇〇委員、〇〇委員に御協力を賜りまして12月15日に市民フォーラムを開催する予定となっております。中間答申に関する説明や会場から頂く御意見、御質問に対してディスカッションするコーナーも予定しております。また、現在市民フォーラムのチラシを作成しておりますので、チラシが完成しましたら改めてのお願いになりますが別途、委員の皆様にお配りしますのでぜひお友達や団体関係者の方をお誘いいただき御参加いただけたらと考えています。

その後のスケジュールとしましては第10回の審議会で取りまとめた内容につきましてパブリックコメントを実施し、市民より頂いた御意見を第11回の審議会で報告させていただき、第12回の審議会で最終答申とさせていただく予定となっております。

続きまして2点目、次回第9回の開催日についてです。1月中旬以降、下旬を予定しております。候補日としては1月27日(月)、1月29日(水)のどちらかで開催したいと考えておりますが、現時点で皆様の御都合等はいかがでしょうか。御都合がつかなかった場合には21日か23日も候補日としております。

いま出席されている方の中では27日か29日が一番多いかなと思いますので、どちらかの日ではほかの委員の御都合も踏まえて開催日を設定させていただきたいと思います。

【会長】

第1候補は29日にさせていただいて、今日御欠席の方の御都合も聞いていただいて調整をできれば。

【事務局】

29日を中心に調整させていただきたいと思います。

【会長】

その他、何かございますでしょうか。それでは、以上をもちまして本日予定しております議題はすべて終了いたしました。活発な御議論ありがとうございました。では、事務局で今日の検討を踏まえて整理していただいて、私のほうで確認することにさせていただきたいと思います。これをもちまして第8回東久留米市長期総合計画基本構想審議会を閉会させていただきます。活発な御議論、どうもありがとうございました。

—以上—